

体験学習 on Web / 高校数学A_001

独立な試行の確率 No. 1

独立な試行の確率

▶ 2024.10.7(月)

フロローグ

「独立な試行の確率」のお勉強です。

確率の問題では、試行Sと試行Tが互いに独立であることを条件としてSとTが連続して起こる確率を求めることができます(積の法則)。これは、確率の問題を解くときによく使う大切な技術です。

ここでは、この「試行の独立」を条件としたいろいろな問題を解いてみます。

次のような学習計画にそって学習します。(詳しくは「学習計画書」をご覧ください。)

「独立な試行の確率」の学習計画

§ 1 独立な試行

(1) 独立な試行の確率…反復試行の確率の”土台”となる考え方を学びます。

- ・「試行が独立」とはどのようなことか。
- ・独立な試行の確率は”積”で求める。

この2点を、玉を取り出す問題やカードを引く問題で、具体的に理解して下さい。

ここでは、対立概念として、排反事象の確率は”和”で求めるということを理解し、積の場合と和の場合を使い分けることができるようにして下さい。

これは、確率の問題を解くときの基礎の基礎の”力”です。

これらは、演習問題を解くことで自然と身につくように教材が設計されています。

今回は、この部分の学習です。

これ以降は、次の計画で学習します。

詳しい学習のポイントは、そのつど紹介します。

§ 2 反復試行 …これは今後の確率に関連する問題を解くのに超重要な解法の技術です。

”命がけ”で、絶対にマスターして下さい。(共通テストや2次では必ず出題されます。)

- (1) 反復試行の確率
- (2) 数直線上の点の移動

§ 3 確率の計算

- (1) 最大と確率
- (2) 最小と確率
(発展)さいころの目の最大値・最小値
- (3) 先にn勝する確率(「反復試行の確率」の利用)

(4) 通過点の確率（「反復試行の確率」の利用）

タイトルを見るだけで、およそどんな問題であるかを理解できると思います。

「反復試行の確率」を使って模試・入試問題を解く

最後に、共通テスト模試問題や入試問題を、「反復試行の確率」を使って解いてみます。

◀●■ 学習教材 ■●▶

高校数学A・場合の数と確率 4・独立な試行の確率 No. 1

1 独立な試行

■ 独立な試行の確率 ■

学習教材 → Link : | [高校数学A・教材サンプル MENU](#) |

／数学A [4] 独立な試行の確率 記録 プリントNo. 1

★演習★は、数専ゼミ・東原教室で指導しています。いつからでも入塾できます。

「反復試行の確率」の問題に強くなる数学専門指導

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp

基礎とテスト対策は数専ゼミで！

■在籍学年に関係なく、算数・数学のどの分野でも学習できます。

いつからでも、どこからでも、始められます。

■他塾に在籍していても、**数専ゼミで「算数・数学」だけ**指導を受けることもできます。

* コマーシャル 数専ゼミ・山形東原教室 → Link : | [入学案内書](#) |